



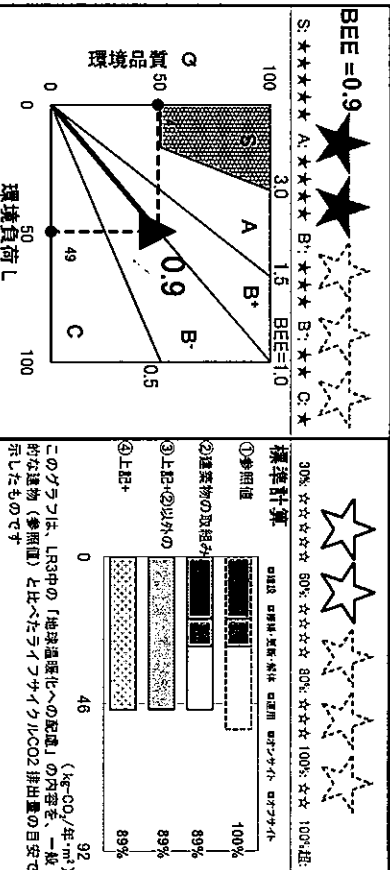
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

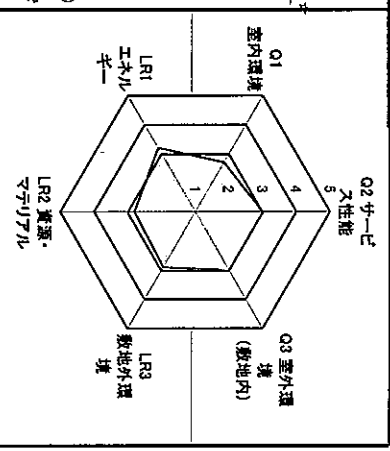
■使用評価面スコア/L1: CASBEE新築用指標, CASBEE新築用指標, CASBEE新築用指標 | 使用評価シート: CASBEE-BD_NC_2016v(2-1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	協進社 工場新築工事	階数	地上1F
建設地	埼玉県加須市北大桑字大宮835番4	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	XXX 時間/年(推定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月	評価の実施日	2019年10月5日
敷地面積	11,307 m ²	作成者	伊藤彬
建築面積	2,244 m ²	確認日	2019年9月9日
延床面積	2,266 m ²	確認者	〇〇〇
			

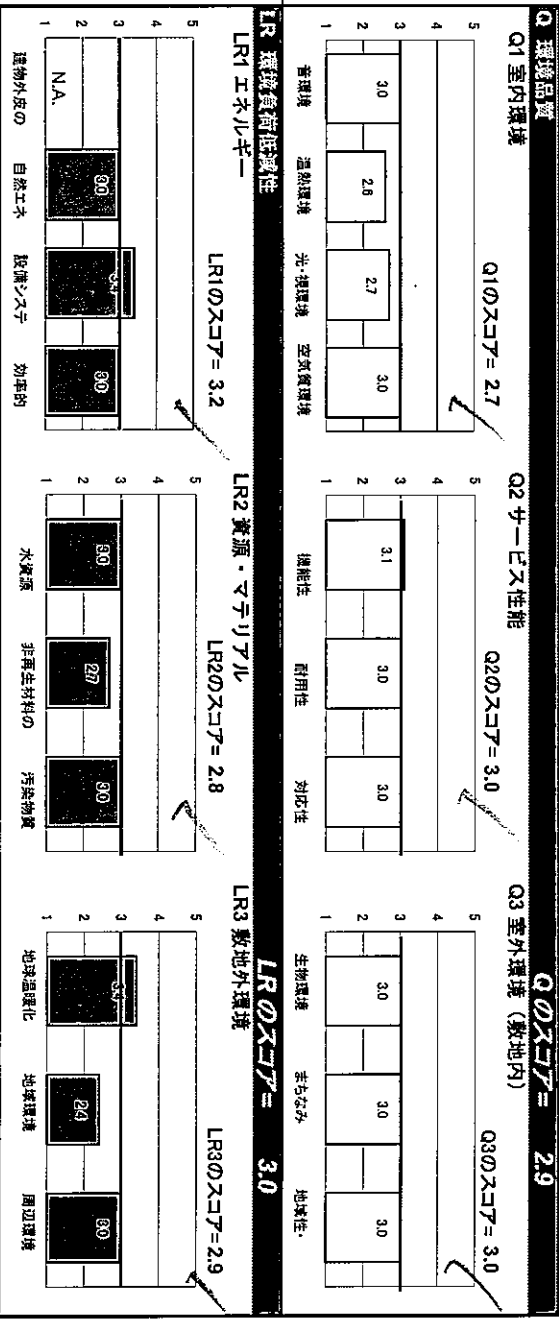
2-1 建築物の環境効率(BEEラシク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

周辺環境に配慮したデザインとし、緑豊かな緑地を配置。

その他

特になし

Q1 室内環境 従業員の就業環境に配慮し、休憩室を設置。

Q2 サービエ性能 維持管理のしやすい材料を採用。

Q3 室外環境 (敷地内) 敷地周辺には緑地を配置し、敷地内環境に配慮。

LR1 エネルギー 特になし

LR2 資源・マテリアル 維持管理のしやすい材料を採用。

LR3 敷地外環境 周辺環境、景観に配慮し、高さをおさえ、彩度の低い色彩を採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-環境(新築)2016年版

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-環境(新築)2016年版
 評価レポート: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

欄に数値またはコメントを記入

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価		全体
		評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質			0.30	2.9
1 音環境		3.0	0.15	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-
1.2 運音		3.0	0.40	-
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-
2 昇降遮音性能		3.0	0.40	-
3 昇降遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	-
4 昇降遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	-
1.3 吸音		2.6	0.35	2.6
2 温熱環境		3.0	0.50	-
2.1 室温制御		3.0	0.38	-
1 室温		3.0	0.25	-
2 外皮性能		1.0	0.38	-
3 ヴォリューム制御		3.0	0.20	-
2.2 湿度制御		3.0	0.30	-
2.3 空調方式		2.7	0.25	2.7
3 光・視環境		3.0	0.30	-
3.1 風光利用		3.0	0.60	-
1 風光率		3.0	-	-
2 方位別開口		3.0	0.40	-
3 風光利用設備		2.0	0.30	-
3.2 グレア対策		2.0	1.00	-
1 グレア制御		3.0	0.15	-
3.3 照度		3.0	0.25	-
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0
4 空気質環境		3.0	0.50	-
4.1 発生源対策		3.0	1.00	-
1 化学汚染物質		3.0	0.30	-
4.2 換気		3.0	0.33	-
1 換気量		3.0	0.33	-
2 自然換気性能		3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.20	-
4.3 運用管理		3.0	0.50	-
1 CO ₂ の監視		3.0	0.40	3.0
2 喫煙の制御		3.1	0.40	3.1
1 機能性		3.0	0.40	-
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.33	-
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-
3 リニア計画		3.3	0.30	-
1.2 心理性・快適性		3.0	0.33	-
1 広さ感・景観		4.0	0.33	-
2 リゾビジュエンス		3.0	0.33	-
3 内装計画		3.0	0.30	-
1.3 維持管理		3.0	0.50	-
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.30	3.0
2 耐用性・信頼性		3.0	0.50	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.80	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.20	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.30	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.10	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.10	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.20	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-
2.4 信頼性		3.0	0.20	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-
3 電気設備		3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	3.0	0.30	-	3.0	
		1 階高のゆとり	3.0	0.30	-	3.0
	3.2 荷重のゆとり	3.0	0.40	-	3.0	
		2 空間の形状・自由さ	3.0	0.40	-	3.0
	3.3 設備の更新性	3.0	0.40	-	3.0	
		1 空調配管の更新性	3.0	0.20	-	3.0
		2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	3.0
		3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	3.0
		4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	3.0
		5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	3.0
6 ハットアップスへの確保	3.0	0.20	-	3.0		
G3 室外環境(敷地内)	3.0	0.40	-	3.0		
	1 生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	3.0	
	2 まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	3.0	
	3 地域性・アムニティへの配慮	3.0	0.30	-	3.0	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	3.0	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	3.0	
LR 建築物の環境負荷低減性	3.0	-	-	3.0		
	LR1 エネルギー	0.40	-	3.2		
LR1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-		
	2 自然エネルギー利用	3.0	0.13	-	3.0	
	3 設備システムの高効率化	[BEL][Eemj] = 0.76	0.63	-	3.4	
	4 効率的運用	3.0	0.25	-	3.0	
		集合住宅以外の評価	3.0	1.00	-	3.0
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	3.0
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	3.0
	集合住宅の評価	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
	LR2 資源・エネルギー	3.0	0.30	-	2.8	
		1 水資源保護	3.0	0.20	-	3.0
		1.1 節水	3.0	0.40	-	3.0
			1.2 雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.80	-
1 雨水利用システム導入の有無		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	3.0
		2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	2.7
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	3.0	
		2.1 材料使用量の削減	3.0	0.10	-	3.0
		2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	3.0
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	3.0
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	1.0	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	2.0	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	4.0	0.20	-	4.0		
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.0	-0.20	-	3.0		
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	3.0	
	3.2 プロソ・ハロンの回避	3.0	0.70	-	3.0	
	1 消火剤	3.0	0.50	-	3.0	
2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	3.0		
3 冷媒	3.0	0.50	-	3.0		
LR3 敷地外環境	3.4	0.30	-	2.9		
	1 地球温暖化への配慮	LCGO:標準計算に基づく	0.33	-	3.4	
	2 地域環境への配慮	3.0	0.33	-	2.4	
		2.1 大気汚染防止	3.0	0.25	-	3.0
		2.2 温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	2.0
		2.3 地域インフラへの負荷抑制	2.7	0.25	-	2.7
	1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	3.0	
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	3.0
		3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	3.0
		4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	2.0
	3 周辺環境への配慮	3.0	0.33	-	3.0	
		3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	3.0
		1 騒音	3.0	0.33	-	3.0
		2 振動	3.0	0.33	-	3.0
3 悪臭		3.0	0.33	-	3.0	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	3.0	
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	3.0
		2 砂塵の抑制	3.0	-	-	3.0
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	3.0	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	3.0	
	1 室外照明及び屋内照明の立ち上げに連動する外への対策	3.0	0.70	-	3.0	
	2 星光の建物外壁による放射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	3.0	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	協進社 工場新築工事	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライトサイケルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
3.4	+	2.6	=	6.0

重点項目の各スコアへの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライトサイケルCO2の削減

スコア平均 3.4

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア

<配慮した内容を記述>

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.6

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	<input type="text" value="3.0"/>
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	<input type="text" value="3.0"/>
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	<input type="text" value="2.0"/>

<配慮した内容を記述>

: 入力欄